

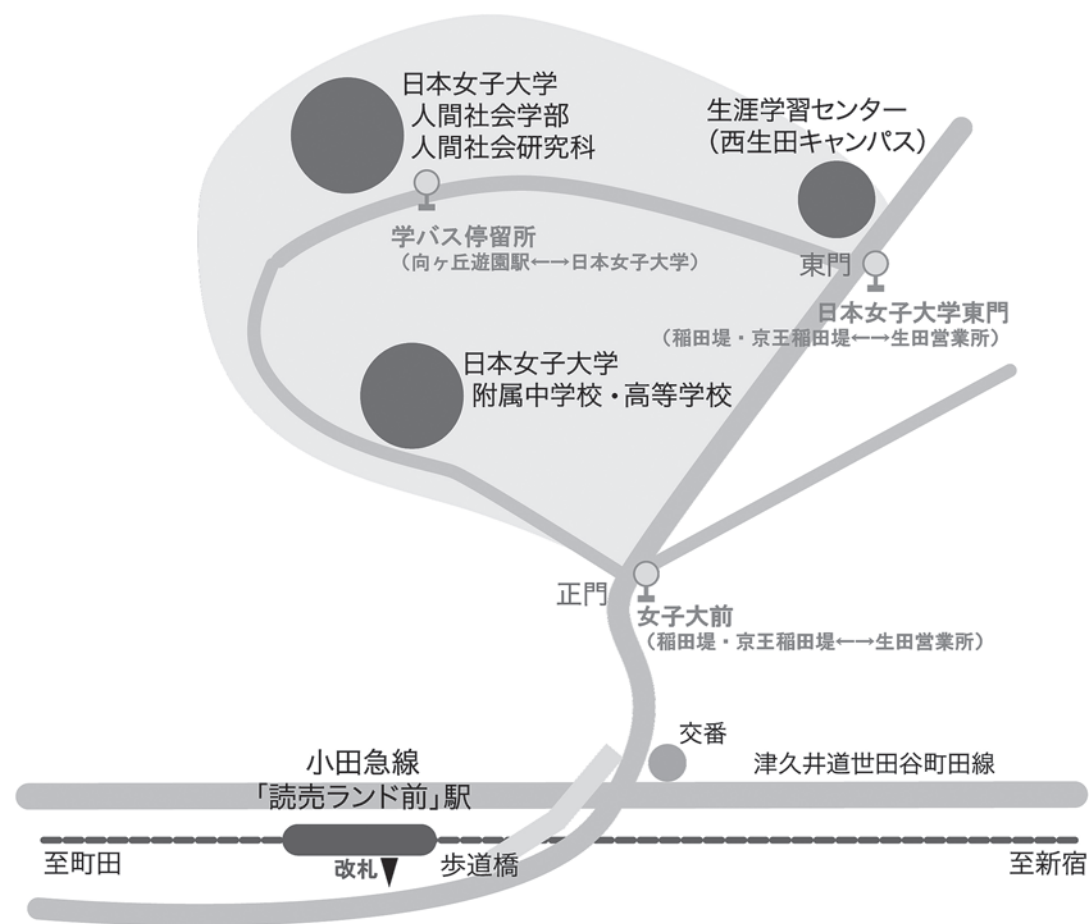
第58回研究大会プログラム

会場 日本女子大学（西生田キャンパス）
日時 2011年9月16日（金）～18日（日）

	午前		午後			夕	
9月16日 （金）			受付 （12:00～）	プロジェクト研究 （13:00～16:00）	会場校企画 （16:15～18:15）	全国理事会（18:30～21:00） 若手研究者のつどい（18:30～ ）	
9月17日 （土）	受付 （9:00～）	自由研究発表 （9:30～12:00）	昼食	自由研究発表 （12:45～14:45）	特別シンポジウム （15:00～17:00）	総会 （17:15～18:30）	懇親会 （18:45～20:30）
9月18日 （日）	受付 （9:00～）	プロジェクト研究 （9:30～12:30）	昼食	ラウンドテーブル （13:30～16:00）			

《御案内》

- （１）受付案内 ①会場案内は表紙裏、教室案内はP1～P5をご参照下さい。 ＊敷地内禁煙です
②受付設置場所・時間はつぎのとおりです。
1日目：12：00～ 日本女子大学 人間社会学部 B棟 水田記念学生ホール入口
2日目： 9：00～ 〃
3日目： 9：00～ 〃
- （２）参加費等 ①参加費 2,500円（学部生は1,000円）※非会員の大学院生は2,500円
但し会員の大学院生は身分証提示の場合のみ1,500円
②懇親会費 4,000円 受付でお申込み下さい。
たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。
③昼食 周りには飲食店がありませんので、食堂2階をご利用下さい。
受付で食券（580円）を購入して下さい。
＊17日と18日の食券を16日から販売します。
- （３）会場案内 ①大会本部 B棟 26番
②参加者控室 B棟 27番、食堂2階、1階水田記念学生ホール
③理事会 A棟 第1会議室
④若手研究者のつどい A棟 第2会議室
⑤総会 B棟 10番
⑥懇親会 B棟 1階水田記念学生ホール
- （４）発表者は、当日配布資料がある場合、十分な枚数（80～100枚）をご用意下さい。
会場でのコピーは出来ません。
- （５）大会についてのお問い合わせやご連絡は下記にお願いします。
〒214-8565 川崎市多摩区西生田1-1-1
日本女子大学 人間社会学部教育学科 田中 雅文 Tel 044-952-6870（月・木・金）
〃 学校教育ボランティア事業室 藤田 清子 Tel 044-952-6727（火～木）
E-Mail social.ed@fcjwu.ac.jp



交通案内

交通	○小田急線「読売ランド前」駅	徒歩	大学まで 約15分
	○小田急線「向ヶ丘遊園」駅	スクールバス(学バス)	北口 東急ストア前から乗車 大学まで約15分 *スクールバスの時刻表は下記をご参照ください
	○JR南武線「稲田堤」駅 ○京王線「京王稲田堤」駅 *バス停名称「城下」	バス	約12分 *本数が少ないのでご注意ください 【小田急バス】「生田営業所」行き乗車 下車「日本女子大東門」大学まで徒歩5分
	○小田急線「向ヶ丘遊園」駅	タクシー	北口(南口も可)から乗車 大学まで約15分 行先指定「日本女子大学 図書館前」

*9月16日(金)・17日(土)・18日(日)のスクールバス時刻表

	向ヶ丘遊園駅北口発		日本女子大学発	
8	24	8		
9	00 40	9	20	
10	20	10	40	
11	00 40	11	20	
12	20 40	12	00	
13	20	13	40	
14	00 40	14	20	
15	20	15	00 40	
16	00 40	16	20	
17	20	17	00 40	
18	00	18	50	

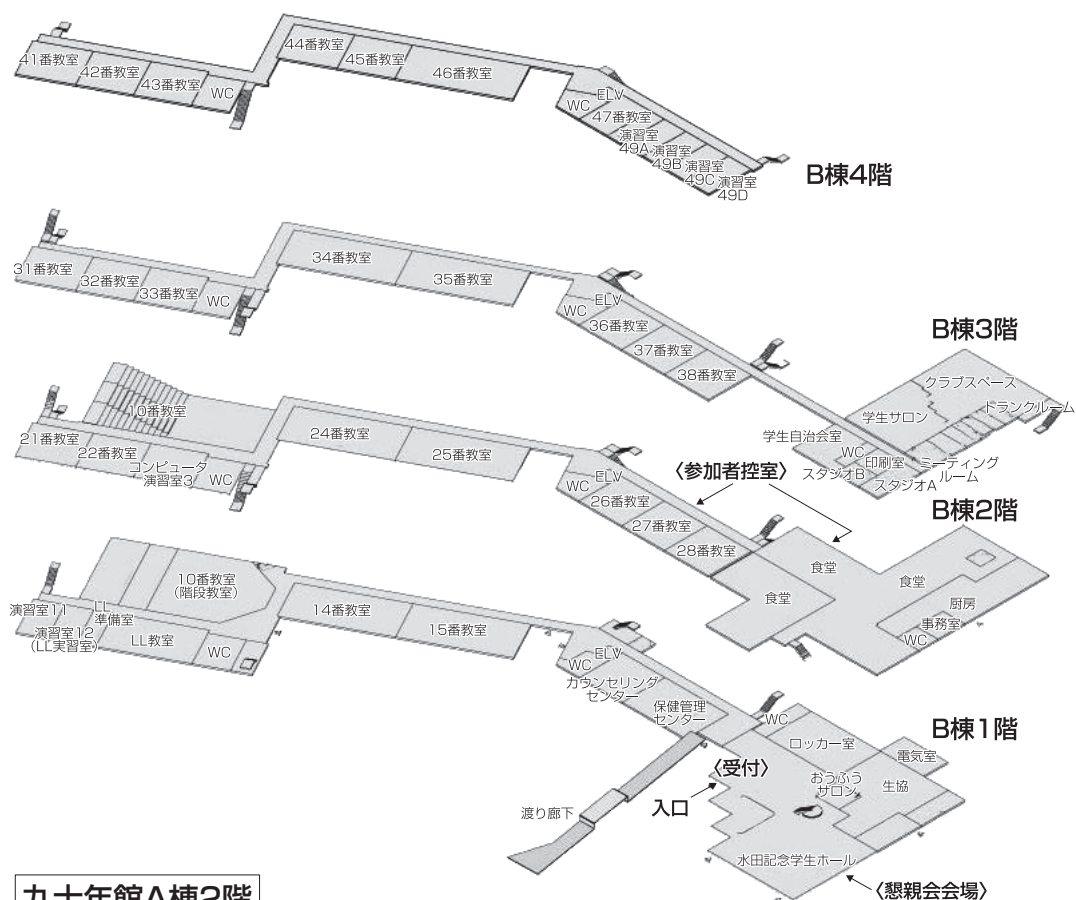
18日(日)の最終は、向ヶ丘遊園駅北口発
17：20、日本女子大学発17：40です。



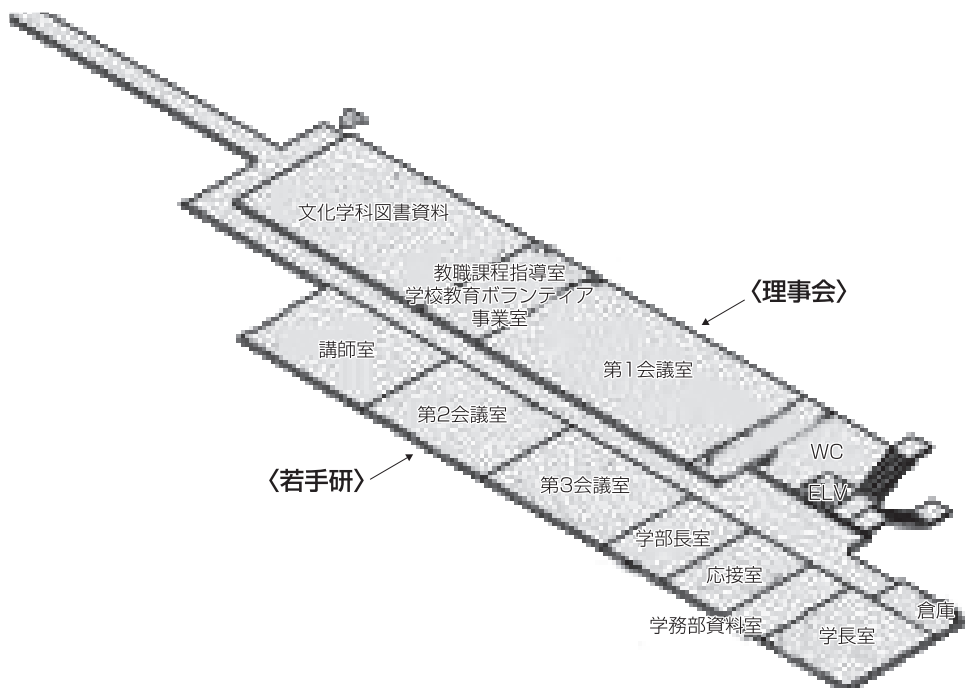
※日本女子大学西生田キャンパスは「敷地内禁煙」です

九十年館B棟

西生田キャンパス



九十年館A棟2階



近隣ホテルのご案内

☆ホテルモリノ新百合丘

〒215-0021 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-1-1 (TEL 044-953-5111)

*小田急線新百合ヶ丘駅南口前

☆ホテル町田ヴィラ

〒194-0022 東京都町田市森野1-20-10 (TEL 042-724-0840)

*小田急線町田駅北口より徒歩3分

☆小田急ホテルセンチュリー相模大野

〒252-0303 神奈川県相模原市南区相模大野3-8-1 (TEL 042-767-1111)

*小田急線相模大野駅相模大野ステーションスクエア7F～14F

*各自でご予約ください。

*都内に宿泊を希望される方は新宿近辺が便利です。

保育サービスのご案内

お子様のいらっしゃる若手研究者の皆様が研究発表と研鑽の機会を得られるように保育サービスを提供いたします。保育サービスを希望される方は、下記の要領でお申し込みください。お申し込みいただいた方には、折り返し必要書類をお送りいたします。既に申し込まれていた方も、改めてE-mailにてお申し込みください。

1. 保育時間

9月16日(金) 12:30~16:15

9月17日(土) 9:00~17:15

9月18日(日) 9:00~16:15

*昼食はお子様と一緒にいただきます。

2. 受入年齢

1歳以上小学校3年生までのお子様を対象とします。

3. 保育室

未就学児 A棟1階 心理学科プレイルーム

小学校1~3年生 A棟2階 第2会議室

4. 保育者

本学教育学科OGの幼稚園教諭経験者、小学校教諭経験者、学生ボランティアがお子様のお世話をいたします。

5. 費用

保険料、おやつ代として、1人1日につき、500円申し受けます。

6. 申込方法

8月19日(金)までに、下記の事項をE-mailにて大会実行委員会(social.ed@fc.jwu.ac.jp)までお知らせください。期限厳守でお願いいたします。

①申込者(学会員)の氏名・所属・住所

②申込者の電話番号(自宅・携帯・勤務先)、FAX番号、E-mailアドレス

③お子様の氏名、性別、年齢

④保育サービス希望日および希望時間帯

7. その他

ご持参いただく持ち物等につきましては、お申し込みのあった方に別途お知らせいたします。ご質問等ある方は、大会実行委員会(social.ed@fc.jwu.ac.jp)までお問い合わせください。

9月16日(金)

受 付	B棟1階	水田記念学生ホール入口
プロジェクト研究〈第1室〉	B棟1階	14番
プロジェクト研究〈第2室〉	B棟1階	15番
会場校企画	B棟1階	10番

9月17日(土)

受 付	B棟1階	水田記念学生ホール入口
自由研究発表 第1室	B棟2階	28番
自由研究発表 第2室	B棟2階	21番
自由研究発表 第3室	B棟3階	31番
自由研究発表 第4室	B棟2階	22番
自由研究発表 第5室	B棟3階	32番
自由研究発表 第6室	B棟1階	14番
自由研究発表 第7室	B棟1階	15番
自由研究発表 第8室	B棟2階	24番
自由研究発表 第9室	B棟3階	33番
自由研究発表 第10室	B棟2階	25番
自由研究発表 第11室	B棟3階	34番
自由研究発表 第12室	B棟3階	35番
自由研究発表 第13室	B棟4階	46番
特別シンポジウム(震災)	B棟1階	10番
総 会	B棟1階	10番
懇親会	B棟1階	水田記念学生ホール

9月18日(日)

受 付	B棟1階	水田記念学生ホール入口
プロジェクト研究〈第1室〉	B棟1階	14番
プロジェクト研究〈第2室〉	B棟1階	15番
ラウンドテーブル①	B棟2階	22番
ラウンドテーブル②	B棟3階	36番
ラウンドテーブル③	B棟3階	31番
ラウンドテーブル④	B棟3階	32番
ラウンドテーブル⑤	B棟3階	33番
ラウンドテーブル⑥	B棟3階	37番

第1日目 9月16日(金)

プロジェクト研究〈第1室〉 「労働の場のエンパワメント」

13:00～16:00 B棟 14番

テーマ 「社会教育・生涯学習における労働概念を問い直す」

司会 朴木 佳緒留（神戸大学）、池谷 美衣子（筑波大学）

報告 ① 「「後期近代」における社会政策論と教育論における
「労働」・「能力」形成の争点」

姉崎 洋一（北海道大学）

② 「ケア労働とジェンダー—ケアすることの女性偏在の意味」

内藤 和美（群馬パース大学）

③ 「成人性の基礎としての労働の意味と職業的専門性の形成」

三輪 建二（お茶の水女子大学）

プロジェクト研究〈第2室〉 「アイヌ民族・先住民族をめぐる教育の課題」

13:00～16:00 B棟 15番

テーマ 「海外における先住民族の教育制度の改革の現状と課題」

司会 若園 雄志郎（北海道大学アイヌ・先住民研究センター）

報告1 「オーストラリアにおける先住民族の教育支援システム
—大学開放の視点から—」

前田 耕司（早稲田大学）

報告2 「カナダにおける先住民族の教育システム」

広瀬 健一郎（鹿児島純心女子大学）

指定討論者 萱野 志朗（萱野茂二風谷アイヌ資料館）

会場校企画
「大学と地域をむすぶ～社会教育の新たなフロンティア～」
16：15～18：15 B棟 10番

テーマ 「大学と地域をむすぶ～社会教育の新たなフロンティア～」
コーディネーター 田 中 雅 文（日本女子大学）

- 報 告 ①「地域を支え、地域に支えられる大学
—和歌山大学地域連携・生涯学習センターの取り組み—」
村 田 和 子（和歌山大学）
- ②「学生による地域貢献活動を通じた学習の意義
—高崎経済大学の取り組み—」
櫻 井 常 矢（高崎経済大学）
- ③「大学研究室のかかわる地域プロジェクトを通して
—実習・学習・実践—」
牧 野 篤（東京大学）

コメンテーター 土 方 美 喜（前川崎市多摩区PTA協議会会長）

若手研究者のつどい
18：30～ A棟 第2会議室

第2日目 9月17日(土)

自由研究発表

9:30～14:45

(共同研究者は○印が登壇者)

第1室 午前 (原理論・歴史)

司会 野元弘幸 (首都大学東京)

9:30～9:55 G. ベイトソンのエコロジカルな思想の生涯学習論への展開の可能性
と課題

安川 由貴子 (京都聖母女学院短期大学)

9:55～10:20 「囲い込み」を批判する理論
—大田堯の諸概念を手がかりに—

久保 健太 (武蔵大学 (非常勤))

10:20～10:45 意味形成空間としての「場」の発展論理

宮崎 隆志 (北海道大学)

10:45～11:10 市民社会の教育学の構築
—生涯学習論の解体と再生—

黒沢 惟昭

11:10～11:35 碓井正久を通してL.アルチュセールを読む

山田 正行 (大阪教育大学)

(討議 11:35～12:00)

第1室 午後 (原理論・歴史)

司会 前平泰志 (京都大学)

12:45～13:10 タカクラ・テルの思想と自由大学運動

大谷 俊 (早稲田大学大学院)

13:10～13:35 1960年代における経済界からの要求
—国民所得倍增計画における経済審議会議事録より—

吉良 仁美 (龍谷大学大学院)

13:35～14:00 明治・大正期における「社会」概念の生成と受容に関する考察

中村 由香 (東京大学大学院)

14:00～14:25 小野十三郎の詩論における美的人間形成論の問題系

小川 史 (上田女子短期大学)

(討議 14:25～14:45)

第2室 午前（原理論・歴史）

司 会 三 輪 建 二（お茶の水女子大学）

9：30～9：55 女子講義録における学習者の意識についての一考察
関 本 仁（早稲田大学大学院）

9：55～10：20 書く民衆の登場と『ふだん記』運動
—生活記録から人生の記録へ—
辻 喜代司（京都大学大学院）

10：20～10：45 シャムから来日した象
—戦前の少年団における国際交流—
圓 入 智 仁（中村学園大学短期大学部）

10：45～11：10 労働者教育協会（Workers' Educational Association）による労働者
成人教育活動の地方展開
—バーミンガム（1905-1930）を事例として—
土 井 貴 子（比治山大学短期大学部）

11：10～11：35 20世紀前半のイギリスにおける都市問題と男性労働者の成人教育
—ロンドンの「メンズ・インスティテュート」を手がかりに—
関 直 規（東洋大学）

（討議 11：35～12：00）

第2室 午後（原理論・歴史）

司 会 千 葉 悦 子（福島大学）

12：45～13：10 J. Mezirowのmaking meaning論に関する考察
常 葉-布 施 美 穂（恵泉女学園大学）

13：10～13：35 社会教育における公民教育論の研究
—下村湖人の教育思想の検討—
上 原 直 人（名古屋工業大学）

13：35～14：00 成人教育における主体のモデルと「教育の人弥性」について
中 俣 保 志（香川短期大学）

14：00～14：25 上原専祿「主体性形成と学習」論研究（その7）
—認識深化の方法論理—
片 岡 弘 勝（奈良教育大学）

（討議 14：25～14：45）

第3室 午前（原理論・歴史）

司 会 国 生 寿（同志社大学）

9：30～9：55 沖縄の二才揃と青年団

井 谷 泰 彦（早稲田大学大学院）

9：55～10：20 山本瀧之助における「青年」の概念

佐 竹 智 子（広島大学大学院）

10：20～10：45 女子青年教育機関としてのYWCAの定着過程
—1920年代の日本YWCAと東京YWCAの動きを中心として—

中 本 かほる（東洋大学大学院）

10：45～11：10 地域共同体の変容と青年集団

—東日本大震災に直面して（その1）

○辻 智 子（東海大学）

藤 田 美 佳（神奈川大学（非常勤））

11：10～11：35 グローバル時代のローカルな知の普遍性

—日本初世界記憶遺産登録達成の意義—

○森 山 沾 一（福岡県立大学）

（討議 11：35～12：00）

第3室 午後（原理論・歴史）

司 会 松 田 武 雄（名古屋大学）

12：45～13：10 教育戦女性による自己教育方法論の探求

—北部イングランド女性高等教育協議会の取り組みとJ・スチュアートの役割

柴 原 真知子（日本学術振興会）

13：10～13：35 戦間期「花嫁学校」の展開

伊 藤 めぐみ（東洋英和女学院大学（非常勤））

13：35～14：00 両大戦間期における女性の自己形成と遊芸

歌 川 光 一（東京大学大学院）

14：00～14：25 ラスキン・カレッジにおける女性学教育の展開

富 永 貴 公（日本学術振興会PD（東洋大学））

（討議 14：25～14：45）

第4室 午前（学習文化活動）

司 会 笹 川 孝 一（法政大学）

9：30～9：55 「外国につながる子ども」支援の為に社会教育ネットワーク構築の試み

—福島県国際交流協会における市民の共同的な学習事例から—

藤 田 美 佳（神奈川大学（非常勤））

9：55～10：20 アイヌ民族の人々の「ダブルバインド」からの自己解放

岩 佐 奈々子（北海道大学大学院）

10：20～10：45 中国における障害者の自立支援と成人教育に関する研究

—社区における障害者の就職訓練を通して—

肖 蘭（名古屋大学大学院）

10：45～11：25 韓国プルーム学校の総合的研究（その2）

○姉 崎 洋 一（北海道大学）

○宗 美 蘭（北海道大学専門研究員）

（討議 11：25～11：50）

第4室 午後（学習文化活動）

司 会 赤 尾 勝 己（関西大学）

12：45～13：10 非常勤社会教育職員 の 力量形成

吉 見 江 利（お茶の水女子大学大学院）

13：10～13：35 高等教育における「環境リーダー育成」の意味と課題

—生涯学習・ESDとしての視点から—

二ノ宮リムさち（東京農工大学環境リーダー育成センター）

13：35～14：00 リーダーの質問力育成方法に関する実践研究

—マイケル.J. マーコードの半構造化インタビューによる検討—

堀 本 麻由子（東海大学）

14：00～14：25 地域の芸術文化活動における学習者支援の一考察

—子どもアート・フェスティバルの事例から—

笠 原 広 一（京都造形芸術大学）

（討議 14：25～14：45）

第5室 午前（学習文化活動）

司 会 石井山 竜 平（東北大学）

9：30～9：55 学習論としてのUnlearn概念の意義とその可能性
酒 井 佑 輔（東京農工大学大学院）

9：55～10：20 メディア空間と「生活記録」の形成
—鶴見和子の生活記録選評の分析から—
猿 山 隆 子（京都大学大学院）

10：20～10：45 生活課題解決に向けた住民の学習に関する歴史的考察
—旧産炭地・筑豊地域の生活保護問題を中心に—
農 中 至（名古屋大学大学院）

10：45～11：10 「多数決のない話しあい」から生まれる他者関係について
—山村留学卒業生のライフストーリーを手がかりに—
野 田 恵（協同総合研究所）

11：10～11：35 小規模山村自治体の地域づくりと地域課題の社会的共同事業化
—行政の社会教育化に向けて—
早 尻 正 宏（山形大学）

（討議 11：35～12：00）

第5室 午後（学習機会）

司 会 岡 幸 江（九州大学）

12：45～13：25 社会教育の視点からみた平和博物館実践の課題
○栗 山 究（早稲田大学大学院）
○日 高 昭 子（京都橘大学大学院）
阿知良 洋 平（北海道大学大学院）

13：25～13：50 地域活動拠点としての寺院
大 島 英 樹（立正大学）

13：50～14：15 女性の意識変革を目指す学習の裾野を広げるための新しい実践
—クレオ大阪東NPO法人支援事業の男女共同参画講座をふりかえって—
森 谷 育 代（大阪府総務部統計課）

14：15～14：40 地域課題の解決と女性の経済的自立に関する調査研究
野 依 智 子（独立行政法人国立女性教育会館）

（討議 14：40～14：50）

第6室 午前（学習文化活動）

司 会 平 川 景 子（明治大学）

9：30～9：55 渡日児童生徒の居場所づくりと自己形成
—大阪における「中国の子どもの集い」と「中国語弁論大会」の事例
にそくして—

平 尾 亮 子（首都大学東京大学院）

9：55～10：20 フィリピン人女性の主体性確立とコミュニティ形成
—地域教育活動を事例に—

金 倫 貞（首都大学東京）

10：20～10：45 外国人母親の創り出した学びのコミュニティ

本 間 淳 子（北海道大学大学院）

10：45～11：10 社会教育学研究としての識字教育研究の課題と方法

添 田 祥 史（北海道教育大学）

11：10～11：35 地元意識の重層性と地域青年活動の組織化

大 坂 祐 二（名寄市立大学）

（討議 11：35～12：00）

第6室 午後（学習文化活動）

司 会 宮 崎 隆 志（北海道大学）

12：45～13：10 協働の子育て実践と親の学習

丸 山 美貴子（北海道大学）

13：10～13：35 地域の子育て支援力の形成と強化に関する検討

村 田 和 子（和歌山大学地域連携・生涯学習センター）

13：35～14：00 台湾における高齢者の福祉と教育

—生存権と学習権の視点から—

董 怡 汝（台湾南榮技術学院）

14：00～14：25 高齢者学習におけるジェロトランセンデンスの問題

堀 薫 夫（大阪教育大学）

（討議 14：25～14：45）

第7室 午前（学習文化活動）

司 会 藤 村 好 美（群馬県立女子大学）

9：30～9：55 CLC職員の職業経歴と力量形成

ダグワジドル・アディアニャム（東北大学大学院）

9：55～10：35 モンゴル ノンフォーマル教育の教師の仕事と生活

○エンフオチル・フビスガルト

○松 本 大（東北福祉大学）

高 橋 満（東北大学）

10：35～11：00 フランス・アニマトゥールの「適性（aptitude）」と「専門職性（professionnalisme）」養成の特質

岩 橋 恵 子（志學館大学）

11：00～11：25 スウェーデンにおけるSocial pedagogikの動向（その2）

松 田 武 雄（名古屋大学）

11：25～11：45 ローカルリテラシー研究（その2）

—日本の経験とネパールの成人教育の課題をつなぐ—

○長 岡 智寿子（法政大学（非常勤））

笹 川 孝 一（法政大学）

（討議 11：45～12：00）

第7室 午後（学習文化活動）

司 会 朴 木 佳緒留（神戸大学）

12：45～13：10 国際結婚した外国人女性の〈社会参加としての起業〉

南 紅 玉（東北大学大学院）

13：10～13：35 多文化政策における家族支援の意義と課題

—韓国の訪問教育の導入を中心に—

○朴 賢 淑（東北大学大学院）

坪 田 光 平（東北大学大学院）

13：35～14：00 子育て協同の歴史的展開と父親

吉 岡 亜希子（北海道大学大学院）

14：00～14：25 「専門職」女性のキャリア形成過程

—資格取得と「専門職として働く」こと—

廣 森 直 子（青森県立保健大学）

（討議 14：25～14：45）

第8室 午前（学習機会）

司 会 小 林 繁（明治大学）

9：30～9：55 社会通信教育における「へだたり」に関する考察
—その成立から1950年代までを中心に—

古 塚 典 洋（東京大学大学院）

9：55～10：20 戦前の高等教育における社会人学生の動向（1）

出 相 泰 裕（大阪教育大学）

10：20～10：45 水族館をめぐる価値観の多様化

瀧 端 真理子（追手門学院大学）

10：45～11：10 東日本大震災にみる社会資本としての地域体育施設の基盤整備
—避難所になった体育館を手がかりに—

上 田 幸 夫（日本体育大学）

11：10～11：35 住民の意識調査に見る公民館の「底力」について

浅 野 秀 重（金沢大学地域連携推進センター）

（討議 11：35～12：00）

第8室 午後（政策・運動）

司 会 荒 井 邦 昭（東北福祉大学）

12：45～13：10 台湾における「終身学習」の現段階
—社区大学の公共性と政策分析を中心に—

林 世 堯（名古屋大学大学院）

13：10～13：35 中国における族群教育政策

—教科内容から一考察—

孫 儀（早稲田大学大学院）

13：35～14：00 イギリスにおける成人基礎教育政策の動向とその評価
—“Skills for Life”政策がもたらしたもの—

岩 槻 知 也（京都女子大学）

14：00～14：25 和歌山県における社会教育委員会議の現状と活性化に向けたあり方

西 川 一 弘（和歌山大学）

（討議 14：25～14：45）

第9室 午前（学習文化活動）

司 会 渡 邊 安 男（香川大学）

9：30～9：55 地域の居場所づくり実践における構成メンバーの意識変容
—実践の「場」の変容との関わりで—

榊 ひとみ（北海道大学大学院）

9：55～10：20 社会教育における健康学習運動の定義と役割

岩 松 真 紀（東京農工大学大学院）

10：20～10：45 障害者ソーシャルワークと「コミュニティ・エンパワーメント」
—インクルーシブな地域づくりを目指す学習実践の分析を通して—

向 井 健（北海道大学大学院）

10：45～11：10 「性差保健」をテーマとする実践コミュニティの展開（2）
—大学の地域貢献事業に関する省察的实践研究—

西 原 亜矢子（新潟大学）

11：10～11：35 幼稚園・保育園と連携した地域エネルギー教育への取り組み
—文京区知恵の実現センターの実践から—

中 川 恵里子（千葉市青葉看護専門学校（非常勤））

（討議 11：35～12：00）

第9室 午後（政策・運動）

司 会 上 田 幸 夫（日本体育大学）

12：45～13：10 家庭教育支援・子育て支援施策の現状と課題
—佐賀県全市長調査の結果の考察—

相 戸 晴 子（佐賀女子短期大学）

13：10～13：35 近代法としての児童福祉法の意義と限界
—児童厚生施設条項の成立過程を手がかりに—

森 本 扶（埼玉大学（非常勤））

13：35～14：15 所沢市における「まちづくりセンター」と公民館運営
—補助執行・公民館運営審議会・社会教育主事をキーワードに考える—

○則 武 辰 夫（所沢市教育委員会）

○細 山 俊 男（所沢市生涯学習推進センター）

（討議 14：15～14：40）

第10室 午前（地域・地域問題）

司 会 野 村 卓（北海道教育大学釧路校）

9：30～9：55 コミュニティ・カフェの「公共性」をめぐる
児 玉 華 奈（九州大学大学院）

9：55～10：20 公設NPOの地域環境学習を育むネットワーク形成
斉 藤 雅 洋（東北大学大学院）

10：20～10：45 「ともに生きる」地域教育共同体づくりと農村女性の主体的役割
—「韓国洪城女性農業人センター」と「カッコール保育園」の子育て運動を事例に—

河 野 和 枝（北星学園大学）

10：45～11：25 支援ネットワークをつくる保健師の力量
○榎 石 多希子（仙台白百合女子大学）
○高 橋 満（東北大学）

（討議 11：25～11：50）

第10室 午後（地域・地域問題）

司 会 辻 浩（日本社会事業大学）

12：45～13：10 持続可能な地域社会の形成に資する食農教育
片 山 千賀子（北海道大学大学院）

13：10～13：35 南九州地域における学校と地域の協力
—食農教育を通して—
植 村 秀 人（南九州大学）

13：35～14：00 アメリカにおける学校・家族・地域のパートナーシップのあり方
大 平 滋（立正大学）

14：00～14：25 ESDによる地域と学校の連携の実証的研究
—都城市安久小学校と地域住民のとりくみ—
神 田 嘉 延（鹿児島大学）

（討議 14：25～14：45）

第11室 午前（地域・地域問題）

司 会 手 打 明 敏（筑波大学）

9：30～9：55 地域の子育て支援NPO

—行政・企業・地域・大学の連携—

宮 木 康 寿（龍谷大学大学院）

9：55～10：20 生涯学習宣言都市における市民の学習活動をととした協働意向

—京都府亀岡市での調査結果から—

山 田 一 隆（関西国際大学）

10：20～10：45 地域協働型ネットワークと大学開放

—緊急時支援活動の事例から—

○藤 田 公仁子（富山大学）

藤 田 昇 治（弘前大学）

10：45～11：25 集合的記憶と再帰的实践

—京都府南山城村野殿・童仙房地区の総合的研究から（その2）

○前 平 泰 志（京都大学）

○吉 田 正 純（京都大学）

辻 喜代司（京都大学大学院）

安 川 由貴子（聖母女学院短期大学）

（討議 11：25～11：50）

第11室 午後（地域・地域問題）

司 会 森 山 沾 一（福岡県立大学）

12：45～13：10 居場所づくりにおける子どもの参加と大人の役割

李 智（東北大学大学院）

13：10～13：35 生活課題から始まる地域組織化

—上越市における高齢者・子どもの居場所づくりを事例に—

○杉 野 聖 子（江戸川大学総合福祉専門学校）

宮 島 敏（社会福祉法人 浴風会）

13：35～14：00 沖縄の集落共同社会における就学前教育に関する研究

嘉 納 英 明（名桜大学）

14：00～14：25 戦後の家庭における子ども像に関する一考察

—1950～1960年代の絵雑誌分析より—

松 山 鮎 子（早稲田大学教育・総合科学学術院）

（討議 14：25～14：45）

第12室 午前（地域・地域問題）

司 会 牧 野 篤（東京大学）

9：30～9：55 中国内モンゴル自治区における民族文化活動に関する考察
—通遼市のウランムチを事例にして—

紅 桂 蘭（筑波大学大学院）

9：55～10：20 韓国における文化・芸術社会的起業の形成と展開

尹 敬 勲（流通経済大学）

10：20～10：45 韓国多文化教育における地域社会との関わり

呉 世 蓮（早稲田大学大学院）

10：45～11：10 人身取引問題と男女共同参画

渡 辺 美 穂（（独）国立女性教育会館）

11：10～11：35 ユネスコの識字政策に関する一考察

—多元的識字観への変容に着目して—

河 内 真 美（筑波大学大学院）

（討議 11：35～12：00）

第12室 午後（地域・地域問題）

司 会 山 城 千 秋（熊本大学）

12：45～13：10 成人の学習論の視座からみる開発教育の位相

近 藤 牧 子（早稲田大学（非常勤））

13：10～13：50 アイヌ民族教育委員会制度の検討

○野 元 弘 幸（首都大学東京）

○清 水 裕 二（少数民族懇談会）

13：50～14：15 東日本大震災のとらえ方

—「平時」の人権状況と災害—

池 上 洋 通（自治体問題研究所）

14：15～14：40 災害・復興における女性・子どものエンパワーメントと支援者の役割
—女性関連施設に着目して—

○新 井 浩 子（早稲田大学（非常勤））

近 藤 牧 子（早稲田大学（非常勤））

辻 智 子（東海大学）

熊 谷 真 弓

（社会福祉法人特別区人事厚生事務組合社会福祉事業団厚生施設けやき荘）

大 野 曜（公益財団法人日本女性学習財団）

村 田 晶 子（早稲田大学）

（討議 14：40～14：50）

第13室 午前（政策・運動）

司 会 堀 薫 夫（大阪教育大学）

9：30～9：55 韓国の社会的企業と女性支援

桔 川 純 子（特定非営利活動法人 日本希望製作所）

9：55～10：20 沖縄祖国復帰闘争と青年団運動に関する考察

山 城 千 秋（熊本大学）

10：20～10：45 米国におけるメンタリング運動の新動向：収監者の子供向けプログラムを中心に

渡 辺 かよ子（愛知淑徳大学）

10：45～11：10 シティズンシップ教育における「正義」と「ケア」の統合の意義
—「正義感覚」の能力と「ケア」力の調和的・協働的な関係構造をめぐって—

小 林 建 一（聖園学園短期大学）

11：10～11：35 課題化の構造における加害

阿知良 洋 平（北海道大学大学院）

（討議 11：35～12：00）

第13室 午後（政策・運動）

司 会 川 野 佐一郎（早稲田大学・非）

12：45～13：10 移行期支援としてのユースワーク

横 江 美佐子（立命館大学大学院）

13：10～13：35 学習支援方法としてのコーチング

米 岡 裕 美（東京海洋大学（非常勤））

13：35～14：00 教員養成改革と社会教育

梨 本 加 菜（鎌倉女子大学）

14：00～14：25 アイルランドの生涯学習機関における若年者支援への取組と課題
—動機づけへの成人のかかわり方に注目して—

鈴 木 尚 子（徳島大学）

（討議 14：25～14：45）

特別シンポジウム
「大震災と社会教育」
15：00～17：00 B棟 10番

司 会 末 本 誠（神戸大学）
課題提起 鈴木 敏 正（北海道大学）

報 告 「生活・地域の復興と青年―〈地域青年団・日青協・助言者集団〉の共
同的關係による実践と研究の模索―」

田 中 潮（日本青年団協議会）
辻 智 子（東海大学）

総 会
17：15～18：30 B棟 10番

懇 親 会
18：45～20：30 B棟1階 水田記念学生ホール

第3日目 9月18日(日)

プロジェクト研究〈第1室〉 「社会教育としてのESD」

9：30～12：30 B棟 14番

テーマ 「社会教育から見たESD：その概念と展開」

コーディネーター 笹 川 孝 一（法政大学）

報 告 ①「環境教育におけるESDの受容と課題」

降 旗 信 一（東京農工大学）

②「開発教育におけるESDの受容と課題」

上 條 直 美（立教大学）

③「社会教育研究と開発・環境問題及びESDとの関係」

安 藤 聡 彦（埼玉大学）

プロジェクト研究〈第2室〉 「社会教育における評価」

9：30～12：30 B棟 15番

テーマ 「力量形成と組織の発展につながる評価」

司 会 水 野 篤 志（京都市ユースサービス協会）

倉 持 伸 江（東京学芸大学）

報 告 ①「プロジェクト研究「社会教育における評価」の展望」

越 村 康 英（北区教育委員会）

報 告 ②「社会教育の実践と研究から出発した内在的評価の可能性」

村 田 晶 子（早稲田大学）

報 告 ③「力量形成と組織の発展につながる評価の展望」

柳 沢 昌 一（福井大学）

コメンテーター 中 田 スウラ（福島大学）

ラウンドテーブル

13：30～16：00

ラウンドテーブル①

テーマ 「地域自治の主体形成（1）―理論と実証―」
コーディネーター 辻 浩（日本社会事業大学）
報告 宮 崎 隆 志（北海道大学）
島 田 修 一（中央大学名誉教授）
細 山 俊 男（所沢市生涯学習センター）

ラウンドテーブル②

テーマ 「地域の労働・社会教育を担う若者―地域構造と主体形成―」
コーディネーター 向 井 健（北海道大学大学院）
齊 藤 雅 洋（東北大学大学院）
報告 「地域の労働・社会教育を担う若者」研究グループ
コメンテーター 井 口 啓太郎（国立市公民館）
阿 部 隆 之（北海道大学大学院）

ラウンドテーブル③

テーマ 「ポスト合併期における基礎自治体の再編と社会教育・生涯学習の役割」
コーディネーター 牧 野 篤（東京大学）
佐 藤 智 子（中央大学（非常勤））
萩 野 亮 吾（東京大学）
報告 平 山 大（文部科学省生涯学習政策局）
木 下 巨 一（飯田市公民館）
水 野 孝 之（豊田市役所社会部）

ラウンドテーブル④

テーマ 社会教育におけるナラティブな方法の可能性（2）在住外国人支援における対話的研究手法
コーディネーター 吉 田 正 純（京都大学）
添 田 祥 史（北海道教育大学釧路分校）
報告 渡 辺 幸 倫（相模女子大学）
本 間 淳 子（北海道大学大学院）

ラウンドテーブル⑤

テーマ	「女性の自立とコミュニティビジネス—社会教育と女性（その9）」		
コーディネーター	亀 口 ま か	（奈良教育大学）	
	藤 田 美 佳	（神奈川大学（非常勤））	
コメンテーター	河 野 明日香	（筑波大学）	
報告	桔 川 純 子	（NPO法人希望製作所）	
	秋 吉 恵	（早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター）	
コーディネーター	神 田 嘉 延	（鹿児島大学稲盛アカデミー）	

ラウンドテーブル⑥

テーマ	「社会教育研究の対象と方法を知る（その1）～日本社会教育学会60周年に向けて～」		
コーディネーター	岡 幸 江	（九州大学）	
	笹 川 孝 一	（法政大学）	
コメンテーター	高 橋 満	（東北大学）	
	前 平 泰 志	（京都大学）	
報告	鈴 木 敏 正	（北海道大学）	



女性のキャリア形成支援 ハンドブック

—講座企画・運営・評価のポイント—

◇女性のキャリア形成支援に求められる視点、講座の企画・運営・評価のポイントをわかりやすくまとめました。

◇大学、NPO、女性センターのキャリア形成支援担当者の方に役立つコンパクトな1冊です。



DVD「関係づくりで 子育て支援！」

—事例とワークショップから—

◇関係づくりの視点に立った子育て支援の事例とワークショップを収録しました。

◇子育て支援に携わる方の研修教材として、保育や教育を学ぶ学生の学習資料として、幅広くご利用ください。

女性と学習・次世代育成情報誌

月刊「We learn」ウィラーン



◇「研究レポート」「シネマ女性学」「海外の男女共同参画」「Women's ART」など多彩なコンテンツでお届けします。

◇表紙は毎月、男女共同参画の実態を示すデータを掲載！

◇「子どもが育つためのつながりをつくる」(5月号)「被災者支援と男女共同参画」(7月号)などをテーマとする特集号も必見です。

◇大学での学習教材や、男女共同参画担当者の事業企画のヒントとしても活用されています。

B5判/毎月1日発行(11月・12月は合併号)
年間購読料 3,600円(税・送料込)

◆お問合せ先 公益財団法人 日本女性学習財団 学習事業課

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館 TEL 03-3434-7575 FAX 03-3434-8082

<http://www.soc.nii.ac.jp/jawe2>

E-mail jawe@nifty.com

原発震災関連新刊

●学習会や授業の教材にそのまま使える最新データ 原発・放射能図解データ

野口邦和監修

8月上旬刊 A5判・1800円

●原子力P(A安全神話マニュアル)を収録 放送レポート別冊 大震災・原発事故とメディア

メディア総合研究所編 その時放送人は地震や原発事故にどう立ち向かったかを現場から伝える。 A5判・1300円

●22年前に原発震災の危険性を指摘した、警告の書 増補版 まんが原発列島

柴野徹夫・作／安斎育郎・解説 技術的欠陥、利益優先体質、原発労働者、安全神話などを描く。 46判・1200円



●産育と教育の激変期に生きた青年の諸相 青年の社会的自立と教育

高度成長期日本における地域・学校・家族 A5判・5800円

橋本紀子・木村元・小林千枝子・中野新之祐編
社会へと向かう青年と家族の諸相、また教師のかかわりを口述史料からえがき出す。



●青年のキャリア形成が困難な時代だからこそ 専門学校教育と キャリア形成

進学・学び・卒業後

植上一希著

多くの青年を職業世界へ送り出している専門学校。聞き取り調査を中心にその実態に迫り、現代的な意義を明らかにする。 A5判・3600円

税込価格 東京都文京区本郷2-11-9 大月書店 メールマガジン配信中(詳細はHPで)
電話03(3813)4651(代表) <http://www.otsukishoten.co.jp/>

新刊

変革を生む研修のデザイン

仕事を教える人への活動理論

●A5判上製 2024頁 定価2,680円(本体2,500円+税)

■著者 ユリア・エンゲストローム
■監訳者 松下佳代(京都大学高等教育研究開発推進センター) 三輪建二(京大の水辺大学)

企業や自治体、看護・医療関係などさまざまな組織において、研修をデザインし、若者や成人を教えることに従事する研修担当者向けの書物はいくつが存在する。その多くがハウツー的な技術の紹介を中心としているのに対して、本書は、ヘルシキ大学のユリア・エンゲストローム教授による、教育学、特に活動理論という理論の裏づけをもったガイドブックである。この点は目次の学習、教授、教授計画などの構成から見ても明らかである。担当者が探究的学習をめざして研修プログラムを組み立てるに最適な書物である。教授自身の日本語版の序の他、解説(松下佳代)も充実している。

目次

- 1章 日本語版への序(エンゲストローム)
- 2章 教育・教授・職業研修
- 3章 よい学習とは何か
- 4章 教授の認知的目標の設定
- 5章 教授内容の選択と構成
- 6章 教授方法
- 7章 教授計画
- 8章 指導技術(ティーチング・スキル)
- 9章 結論
- 解説 松下佳代

好評発売中

女性問題学習・生涯学習・看護教育に携わる人の必読書

成人女性の学習

ジェンダーの視点からの問い直し

就職大学院関係者・成人教育関係者必携の書

省察の実践とは何か

プロフェッショナルの行為と思考

成人教育の基礎理論を理解し、実践にいかす格好の書

おとなの学びを拓く

自己決定と意識変容をめざして

学習者のニーズと特性にかなった必要性と具体例を示す

おとなの学びを支援する

講座の準備・実施・評価のために

アンドラゴジーに関する古典的名著 待望の完訳

成人教育の現代実践

ベタゴジーからアンドラゴジーへ

社会教育職員をはじめ専門職の研修用に最適の書

おとなの学びを創る

専門職の発展の実践をめざして

就職大学院関係者・成人教育関係者必携の書

成人期の学習——理論と実践

成人期の学習——理論と実践

P クラントン著
入江直子・三輪建二監訳
A5判上製 342頁 本体3,000円

K・マイセルほか著
三輪建二監訳
A5判上製 206頁 本体2,300円

M・ノールス著
堀澤夫・三輪建二監訳
A5判上製 600頁 本体5,000円

S・B・メリアン
R・S・カフアラフ
立田慶裕・三輪建二監訳
A5判上製 592頁 本体5,000円

鳳書房

〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷1-25-5 TEL/FAX.03-3483-3723

好評既刊

萌文社(ほうぶんしゃ)の本 《子どもの自治と自立》

こどもが「遊びの都市」まちをつくる

木下真、卯月盛夫、みえけんぞう(編著)

A5判・280頁、2100円(税込)

「こどものまち」の魅力と広がり、掘り下げた話題作! 子どもの参画の扉を開く全国各地の事例を多数掲載。



ミニ・ミュンヘン

子どもがつくる、もうひとつの都市

ミニ・ミュンヘン研究会代表・卯月盛夫(制作)

DVD 40分+冊子51頁、2800円(税込)

待望の新たな増補版が完成。成功を支える巨大倉庫の秘密を収録!!



遊びの力

30年の歩みとこれから

大村瑠子、大西宏治、齋藤啓子、首藤万千子、関戸まゆみ(編著)

A5判・208頁、2100円(税込)

子どもの遊びは人が人となるうえで欠かせない。遊び場づくり30年の社会的意義と「遊び」そのものが持つ力を考える。



「廃校」に「協働」が開花する

地域立子ども交流センター

地域力がはじけるとき

竹内敏、上平泰博(編著) A5判・208頁、2100円(税込)



屋根のない学校

対話共生型住まい・まち学習のすすめ

(財)住宅総合研究財団住教育委員会(編著)

住まい・まち学習の10年間の研究活動成果がついに結実! 教育や建築、まちづくり関係者のみならず子ども関係者に必読の1冊



萌文社

ほうぶんしゃ

〒102-0071 東京都千代田区富士見1-2-32-202

tel: 03-3221-9008 fax: 03-3221-1038

http://www.hobunsha.com/ E-mail: hobunsha@mdn.ne.jp

学校学力から生涯学力へ

― 変化する時代を生きる

前田耕司・佐藤千津編著

定価一七八五円

「生涯学力」形成の観点から学力をとらえ、学校学力ではとらえきれない問題系を明らかにする

ボランティア活動とおとなの学び

― 自己と社会の循環的発展

田中雅文著

定価三二五〇円

ボランティア活動が自己形成と社会形成に及ぼす影響と、そでの学習の役割を明らかにする

新時代の社会教育と生涯学習

国生寿・八木隆明・吉富啓一郎編著

定価二五二〇円

さまざまな規制の緩和等この10年間の社会教育・生涯学習の世界の大きな変化に対応した

生涯学習の基礎〔新版〕

鈴木真理・永井健夫・梨本雄太郎編著

定価二四一五円

今こそあらためて生涯学習を基本に立ち返って考えるために改訂された最新書

表現・文化活動の社会教育

― 生活のなかで感性と知性を育む

畑潤・草野滋之編

定価二五二〇円

社会教育の新しい構想を提起、これまで取り上げられなかった実践・理論・思想に光をあて直す

未来を拓く子どもの社会教育

上杉孝實・小木美代子監修／立柳聡・姥貝莊一編著

定価三一五〇円

子どもの社会教育の今日的な到達点と当面の課題を明らかにし、近未来の展望を描く

社会教育

〈教師教育テキストシリーズ6〉

三輪定宣編集代表／長澤成次編

定価一八九〇円

人権としての学びを支え、地域を創る学校教育と社会教育の持つ役割と可能性を追求する

子どもの参画

― 参画型地域活動支援の方法

萩原元昭編著

定価一九九五円

子どもの主体性・能動性を培う「参画」の概念を取り上げ、地域活動支援の視点から検討

高齢者の生涯学習と地域活動

〈21世紀の生涯学習と余暇〉

瀬沼克彰著

定価二九四〇円

シルバー大学の5事例と地域活性化の大会などイベント4事例を現地取材をもとに論考

未来の必要

― 生涯教育立国の条件

三浦清一郎編著

定価二二〇〇円

生涯学習と変化してきた現行の社会教育システムを再考し、「生涯教育」概念の重要性を論究

〒153-0064 東京都目黒区下目黒3-6-1
http://www.gakubunsha.com

学文社

Tel 03-3715-1501(代) Fax 03-3715-2012
E-mail: eigyo@gakubunsha.com

世界と各国・諸地域の市民性育成教育

世界のシティズンシップ教育 ― グローバル時代の
嶺井明子編著 全世界にわたる総合的研究。 A5・上製・二九四〇円

市民性教育の研究 ― 日本とタイの比較
平田利文編著 初のアジア圏共同比較研究。 A5・上製・四四一〇円

ヨーロッパの学校における市民的社会的教育の発展
― フランス・ドイツ・イギリス
武藤孝典・新井浅浩編著 多彩・豊富なその展開。 A5・上製・三九九〇円

社会教育の新たな展開
アメリカ公民教育におけるサービス・ラーニング
唐木清志著 教育と社会を結ぶ新たな試行。 A5・上製・四八三〇円

フラットフォーム環境教育
石川聡子編著 現場活動に基づく新展開。 A5・並製・二五二〇円

ボストン公共放送局(WGBH)と市民教育
― マサチューセッツ州産業エリートと大学の連携
赤堀正宜著 その理念・歴史・実態のすべて。 A5・上製・四九三五円

生涯学習と現代社会
〈大転換期と教育社会構造・地域社会変革の学習社会論的考察〉
新たな生涯学習の伸長により従来型社会形態・社会関係の超克へ。
小林甫著 全4巻6分冊・各A5・上製 八一九〇円

第1巻 教育社会史 ― 日本とイタリアと
現代的教育 I ― 生活者生涯学習の地域的展開 予四八三〇円

第2巻 現代的教育 II ― 技術者生涯学習の生成と展望 予四八三〇円

第3巻 学習力変革 第4巻 社会共生力

ソーシャルキャピタルと生涯学習 J・フィールド著
矢野裕俊監訳 社会資本と市民の学習力・社会参加との関係。 A5・並製・二六二五円

NPPOの公共性と生涯学習のガバナンス
高橋満著 今日の教育NPPOの意義と役割。 A5・上製・二九四〇円

〒113-0023 東京都文京区向丘1-20-6
http://www.toshindo-pub.com

東信堂

TEL03-3818-5521 FAX03-3818-5514
Email tk203444@fsinet.or.jp 【表示価格税込】

我が国のふるさとを支える若者たちがいます

日本青年団 新聞

読者の皆さんからのお便り

●大震災の記事を読んで、青年団のつながりを改めて実感した
●他県の活動が掲載されていて楽しい●青年の皆さんの頑張っている姿に感動しました●各県の青年団がいろんな活動をしていることがよくわかりました●日青新聞を通じてつたわってることがうれしく、毎回楽しみにしています●自分が活動していた頃を思い出してわくわくします●県内の仲間が掲載されると夢中になって読んでしまいます●記事を読んで、何かに夢中になって取り組むこと私もしてみようと思いました●若者たちの熱い思いが伝わり、心から応援したい気持ちです



日本青年団協議会

<http://www.dan.or.jp>

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町7-1

電話 03-3475-2490 FAX 03-3475-0668

E-mail seinen@dan.or.jp

福祉国家への 態度形成

安藤 理 著

民主主義社会において社会的な不平等を是正するためには、政府だけでなく、一般の人々がとる社会的弱者への態度も重要である。本書は、社会的弱者に対しどのような属性の人がどのような態度をとるようになるのかを研究した。



税込定価 3,100 円

生涯学習

多様化する自治体施策

大桃敏行・背戸博史 編著

地方分権改革の中で、自治体生涯学習施策は新たな展開をみせている。本書は、地域課題と結びつきながら多様化する施策の展開過程を課題とともに整理。今後さまざまな改革に着手する自治体の戦略決定の一助となる1冊。



税込定価 2,940 円

学びあう コミュニティを培う

社会教育が提案する新しい専門職像
日本社会教育学会 編

社会教育法の一部改正をうけて、これからの社会教育職員はどうあるべきか。知識基盤社会において、今必要とされる社会教育の役割、そして学校・福祉施設・行政等との連携のあり方を明らかにすべく、多様な視点から社会教育職員の専門職像を提示。



税込定価 3,045 円

考える福祉

酒井潔・岡野浩 編

哲学という視点から「福祉」の理念を考察した、学習院大学の人気講義を書籍化。現場を熟知した実践家を招き、貧困、ホームレス、AIDS、医療、介護、高齢者、女性、家族、障害者、経済など、各領域の課題と展望を多角的に提示。



税込定価 2,520 円

東洋館出版社

がんばる先生を応援します!

東洋館出版社

検索

〒113-0021 東京都文京区本駒込5丁目16番7号
TEL: 03-3823-9206 FAX: 03-3823-9208